

No.6-2006

平成18年6月30日発行

6月例会を終えて



だけ先に行っていて体がついていかない方など、違う委員会メンバー同士の即席チームでしたが、どのチームもまとまりが良く、またオブザーバー参加の4名のOBも現役との交流をし、大変盛り上がりました。

結果はキャプテンが私のチームが優勝で、例会担当委員長が優勝して良いのかなと思っておりましたが、鈴木委員長のスーパーゴール(オウンゴール)のおかげとっており、MVPは意外な才能を見せた事務局次長の本田君が選ばれました。まさか出るとは思っていなかったオウンゴール賞は、鈴木委員長が獲得いたしました。表彰にあた

去る6月14日(水)に6月例会として、陸上自衛隊秋田駐屯地内体育館において、フットサル大会を開催させて頂きました。

当初予定していた会場が内規等の事情で引かかってしまいましたが、急遽開催場所を探した結果、陸上自衛隊秋田駐屯地業務隊長二等陸佐郡山様のご好意に



より開催に至りました。

通常の体育館とは違う施設の為、入門チェックや、隊員の方の誘導、退室のチェック等があり、参加して戴いたメンバーには通常とは違う雰囲気での例会開催になったと思います。

競技の方は、理事長、専務、各委員長をキャプテンとし各委員会の枠を超えたくじで12チーム編成での開催としました。普段中々スポーツをする機会が少ないメンバーが多いなか、しかもフットサルというハードな競技でしたが、意外な才能を発揮する方や、気持ち



り多くのメンバー企業から沢山の景品を戴きこの場をお借りして御礼申し上げます。

この例会を通じ、会員相互の「友情」「絆」を深め新たな

交流が出来たと思います。今例会を開催するにあたり、準備段階から例会終了までこちらの無理なお願いも聞いて戴いた陸上自衛隊秋田駐屯地の皆さん、本当に有難うございました。不慣れな私をサポートしてくれた委員会メンバーのおかげで、無事に例会を開催することが出来ました。

最後になりますが、当日お忙しい中ご参会戴いたメンバーの皆様、本当に。ありがとうございました。

総務交流委員会 委員長 小松 貴

TOYP2006あきた人間力大賞第一次審査会



資料の多さにびっくりしていました。毎年行われている継続事業であることから、徐々に宣伝効果が出てきたように思われます。

当日はお忙しい中仕事の途中でいらして下さった方、体調不良にもかかわらずいらして下さった方々、びっしりとメモ書きしてきて下さった方、皆様本当にありがとうございました。今後は8月に開催される二次審査の準備へと取り掛かります。皆様、御期待ください。

人間力大賞運営委員会 委員長 国安 忍

去る6月19日、2006年度の人間力大賞を決める第一歩として、協働大町ビルにおいて第一次審査が行われました。

審査員はすべて現役JCメンバーとなっており、委員会メンバーを含め13名で、白熱した意見交換の基、慎重な審議が行われ、1団体を含む5名の方々が二次審査へ進出いたしました。今年には自薦を含め、様々な方からの御紹介で計39件の候補者となり、審査員の方々も



「第19回夕陽ラインシンポジウムin由利本荘」を終えて



調講演では、白鷗大学教授・福岡政行氏より、「元気・景気・明日」をテーマに人口減少問題、頑張っている地域の紹介等、貴重なお話を聴く事ができました。

第2部のパネルディスカッションでは、4名のパネリストの方々より、「日沿道が完成することで、ライフラインが確保でき、高度医療を必要とする救急患者の生存率も高くなる」という意見や、「インフラが整備されると利便性が良くなるが、その活用法については、沿線地域全体で考えていかなければならない」等

6月10日(土)に、由利本荘市総合体育館で、由利本荘JC主管のもと、第19回夕陽ラインシンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、日本海沿岸東北自動車道の沿線にあるLOMが全線開通の早期実現に向けて開催を重ねてきたものです。来賓、JC関係者、一般の方々も多数の参加があり、我々秋田JCからも、渡部理事長をはじめ総勢15名で参加しました。

シンポジウムは2部構成となっていて、第1部の基

の非常に多くの考えを聞く事ができました。

シンポジウム終了後の懇親会でも、それぞれの想いを語り合い、有意義な時間を過ごせたのではないのでしょうか。

最後になりますが、夕陽ラインシンポジウムに参加された皆様お疲れ様でした。一日も早く日本海沿岸東北自動車道が完成しますように・・・。

会員研修委員会 運営幹事 松森 隆介

「第10回わんぱく相撲秋田ブロック大会」を終えて



脇柝司)に大会来賓としてご出席戴き、土俵安泰祈願、開会式を行った後、競技開始となりました。

体格が大きい相手と対戦して勝ってしまう子供がいたり、なかなか決着のつかない取り組みなど見ごたえのある場面が所々に見られました。

最終的に中央地区では、4年生・渡辺君(五里合小)、5年生・安田君(井川小)、6年生・石川君(五城目小)が7月30日に行われる全国大会に出場する事になりました。

6月11日(日) 上小阿仁村立小沢田小学校にて鷹巣、阿仁青年会議所主管のもと第10回わんぱく相撲秋田ブロック大会が開催されました。

当日は、好天に恵まれ暑いくらいの一日でした。そんな中、財団法人日本相撲協会より入間川親方(元関



最後になりますが、渡部理事長をはじめ、当日大会運営にご協力戴きましたスタッフの皆様のおかげで、大きな問題も無く無事大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。

(秋田ブロック協議会 わんぱく相撲運営委員会 委員)
青少年育成委員会 足利 健

メンバーいろいろな趣味紹介

趣味という趣味はありませんが、いつも自己紹介などのときに書いているのは音楽鑑賞(主にクラシック)、美女鑑賞(主に10代)です。というのは冗談ですが、最近「家事」ですかね。JCMANですのでやはり休みが少なく、帰宅時間も遅いので、最近家は恋しい?のかも知れません。休みは掃除、洗濯、アイロンがけ、料理などをさっさと済ませ、一家で遊びに出かけ、最後は温泉・サウナ。最近はこれが気に入っています。あとはギャンブル全般です。

競馬、パチンコ、麻雀それなりにやっています。馬券は最近買っていませんが、万馬券は通産10回くらい取

っているかも。麻雀は結構好きです。数年前、ある建設会社の麻雀大会で優勝しました。今度お相手してくれる方いらっしゃいましたらご一報下さい。パチンコは結構やっていますが極貧ですので専ら羽物で遊んでいます。ASPACの旅費もパチンコで稼ぎました。

500円元手で羽物の機種を選び4箱出し、次の日はパチスロで4万程に。その次の日も勝利。3日で10万作りました。このようなパチンコを私は「わらしべ長者」作戦と呼んでいます。結構遊べると思いますので一度お試しあれ!

人間力開発委員会 委員長 中村 純也

「第56回JCI-ASPAC高松」を終えて



5月25日から5月28日にかけて「第56回JCI-ASPAC高松大会」が開催されました。当LOMからは10数名での参加となりました。4年ぶりとなる日本での開催、高松という事で多少遠くではあったものの海外よりは近く、折角の機会でしたのでどのようなものか興味津々でいざ高松へ。本隊から1日遅れ高松入りし、その日の「ジャパンナイト」に参加致しました。会場にはアジア各国から集まった人々で熱気がすごく、ちがう言語が飛び交う中、我々も秋田弁を出しながら

も日本人とは意思の疎通が取れていました。

斎藤監事をはじめ多くの日本出向者のお陰で、どこにいても声を掛けて戴き、楽しく過ごす事ができました。しかし高松市内での宿が満室状態。仕方なく隣の丸亀市に宿泊手配をしましたが、またこの宿が……。個人的には色々ありましたが楽しい2日間でした。また数々の伝説が生まれ、私も参加者の一人として語り継いで行きたいと思います。

人間力開発委員会 委員長 中村 純也

7月例会のご案内

7月12日(水)午後6時から秋田キャッスルホテルにおいて7月例会が開催されます。

人間力開発プログラムを実施致します。しかしこれまで4年間秋田青年会議所で実施してきたものと内容が異なっており、違ったプログラムを実施する予定です。プログラムコーチは群馬太田JCIのOBで昨年度、(社)日本青年会議所の人間力開発プログラム実践委員会の委員長を務められました「下山真之先輩」をお迎えして進めて戴きます。

テーマは「積極果敢な行動で、活かそうあなたの人間力」です。この例会では恥ずかしさを捨て、いかに積極的にプログラム参加をしていくかが、大切な部分です。そしてその積極性を普段の生活に取入れることで自分の成長、また周りの人々へもいい影響を与えて

戴ければと思っております。一人でも多くの方のご参加お待ちしております。

人間力開発委員会 委員長 中村 純也

「7月例会」

日時 平成18年7月16日(水) 18:30~
 会場 秋田キャッスルホテル 4階 放光の間
 講師 下山 真之氏
 テーマ 「積極果敢な行動で、
 活かそうあなたの人間力」